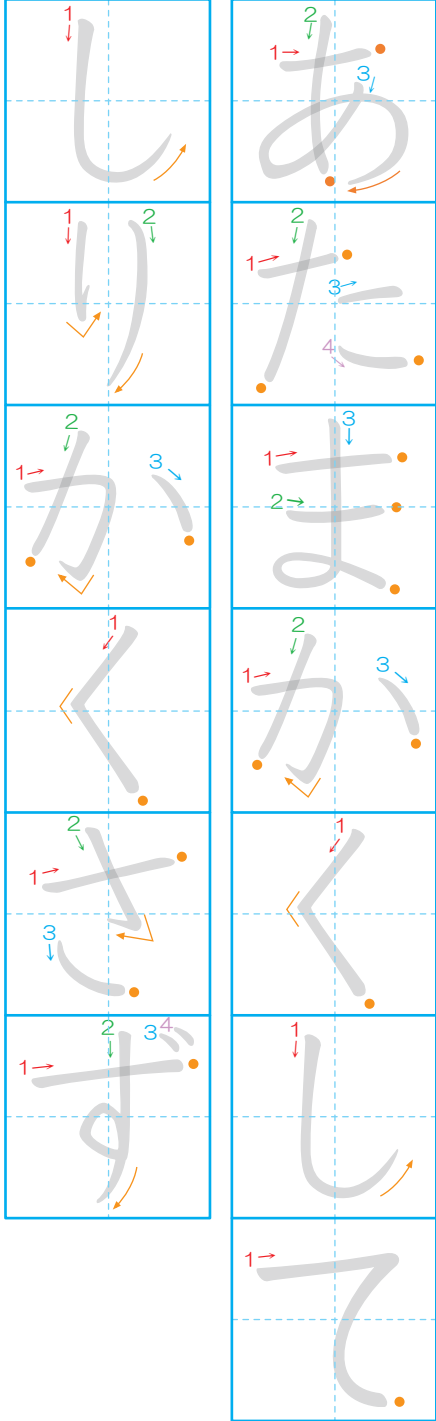
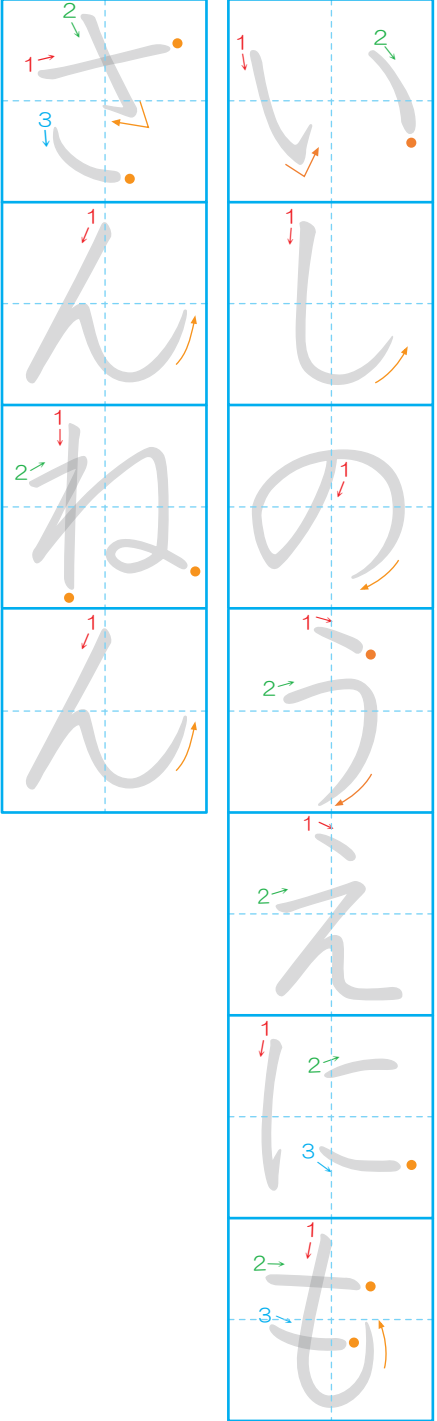


## あ

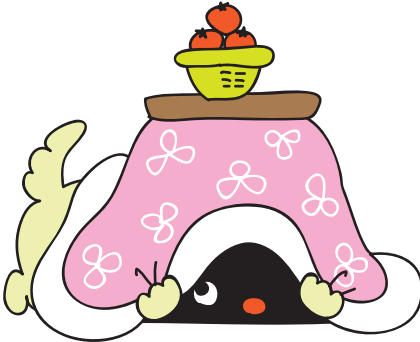


じぶんではすっかりかくしたつもりでも  
ひとからみるとすぐにわかってしまう。

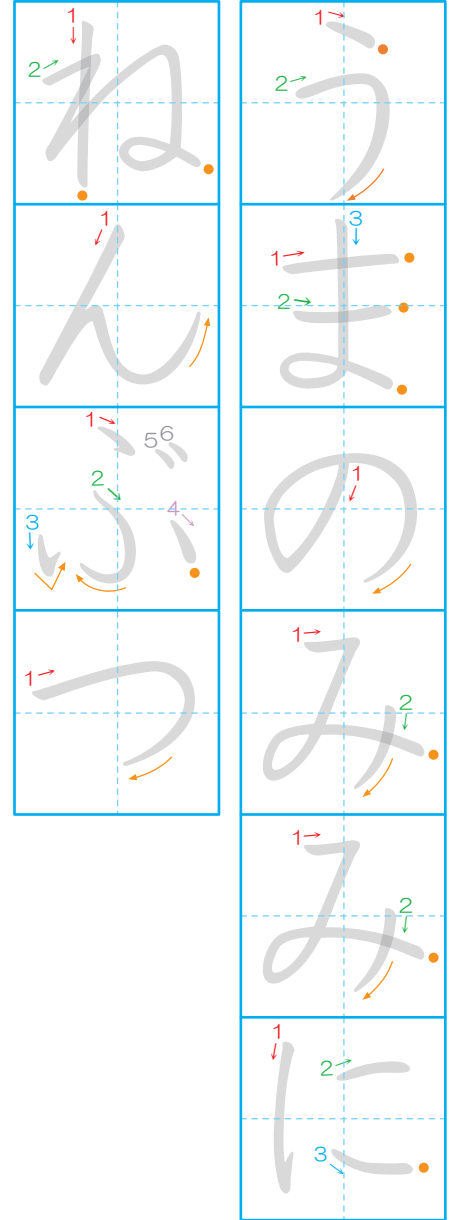
## い



どんなにつらいことでもしんぼう  
づよくやればむくわれる。



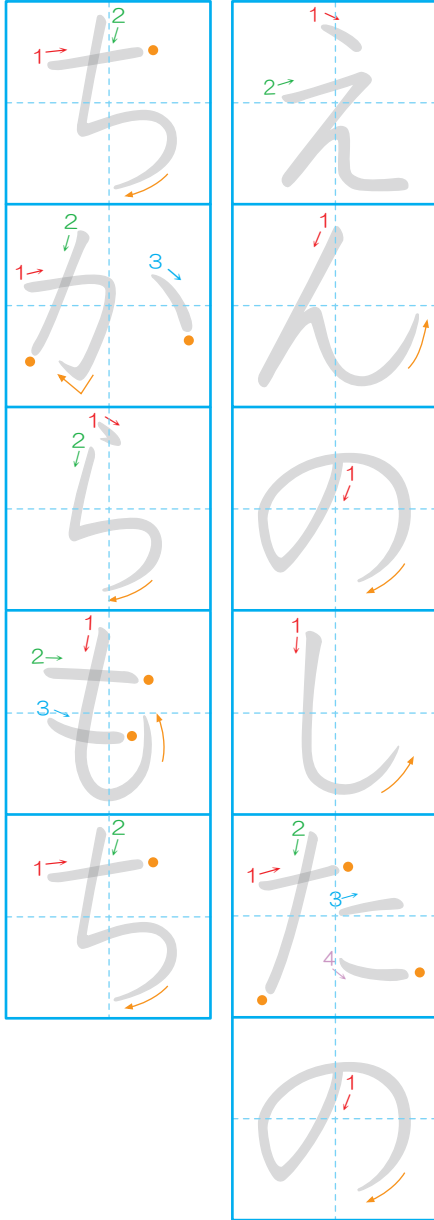
う



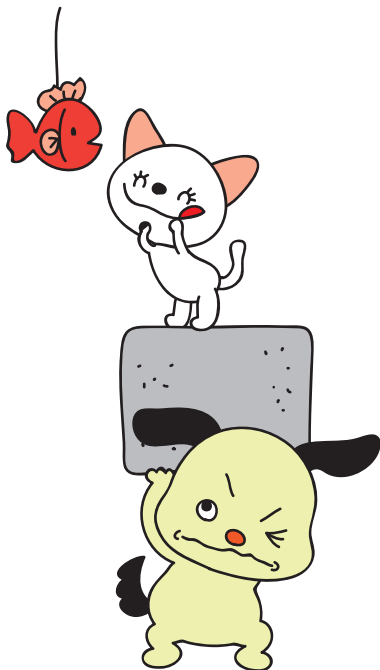
あいてには  
い  
くら  
なに  
を  
い  
つ  
ても  
お  
だ  
だ。

ひ  
と  
の  
は  
な  
し  
を  
き  
こ  
う  
と  
し  
な  
い

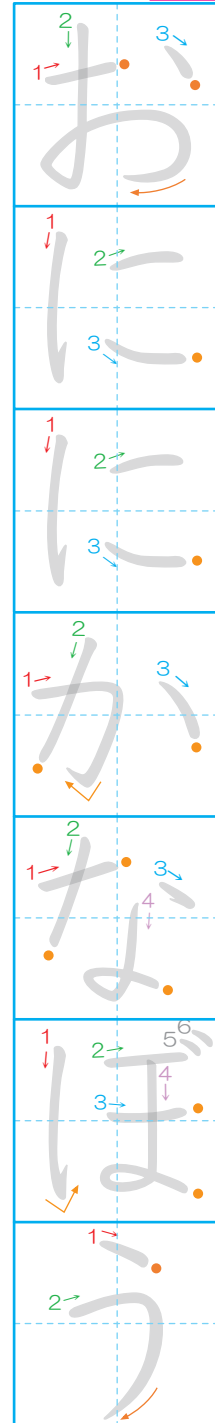
え



ひ  
と  
の  
め  
に  
つ  
か  
な  
い  
と  
こ  
ろ  
で、  
ほ  
か  
の  
ひ  
と  
の  
た  
め  
に  
ち  
か  
ら  
を  
つ  
く  
す  
こ  
と。

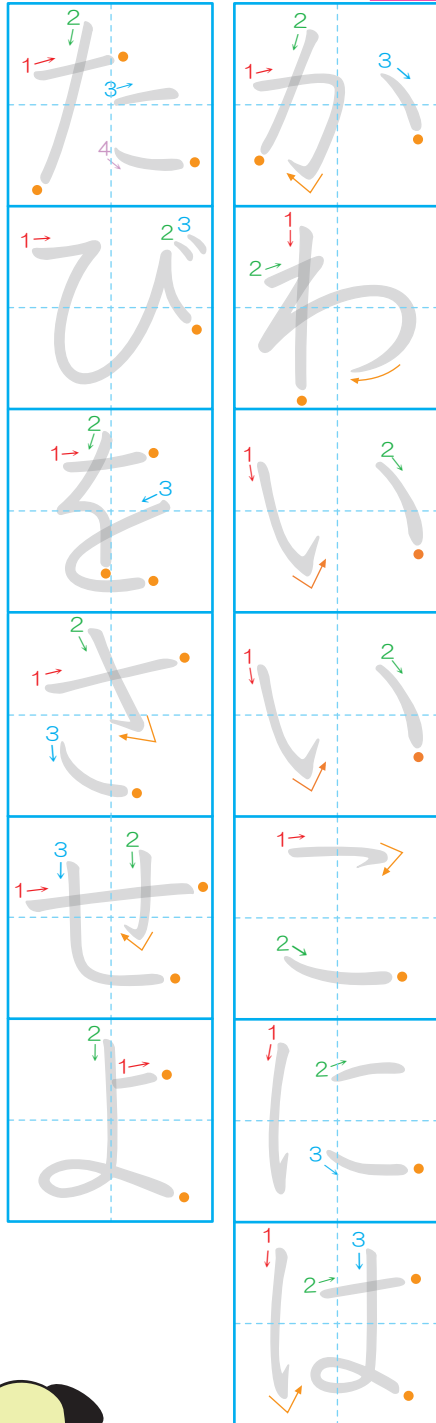


お

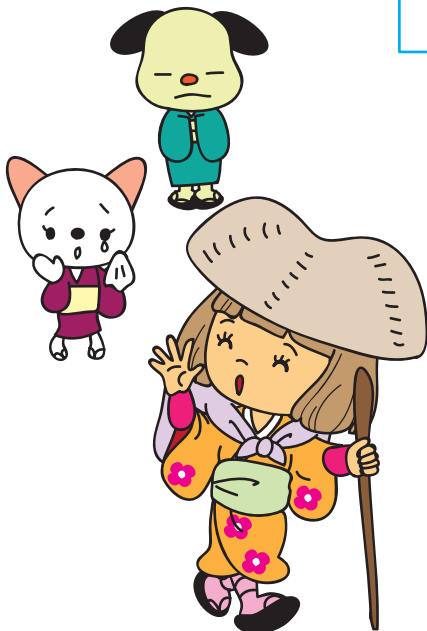


つよいおににかなぼうをもたせたように  
 もともとちからのあるものが、  
 よりつよくなること。

か



じぶんのこどもがかわいいのなら、  
 あまやかさないでせけんにだして  
 くらうをさせるほうがよい。



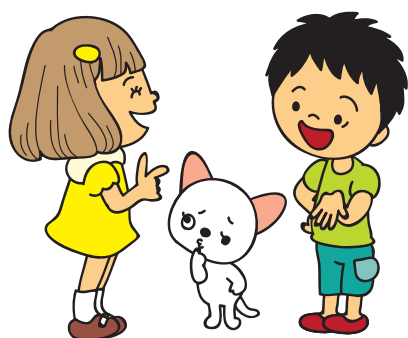




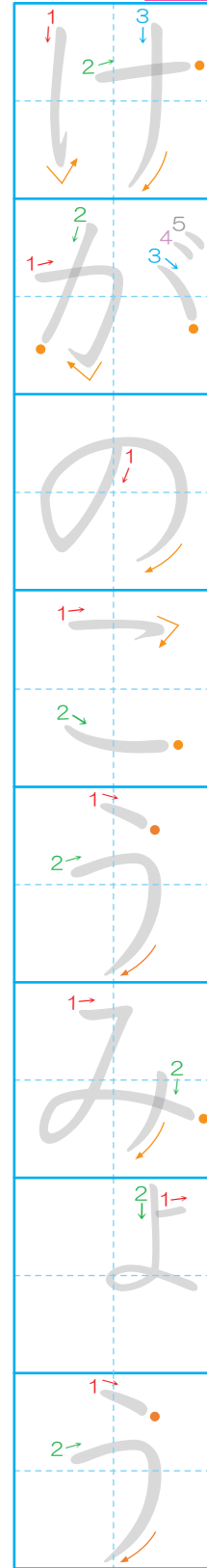

いつもはかみさまをしんじていない  
 ひどが、こまったときだけかみさま  
 においのりをすること。



知らないことをひとにきくのは  
 はずかしいけれど、きかないと、  
 しらないままいっしょうはずか  
 しい おもいをするので、すぐ  
 にきいたほうがよい。

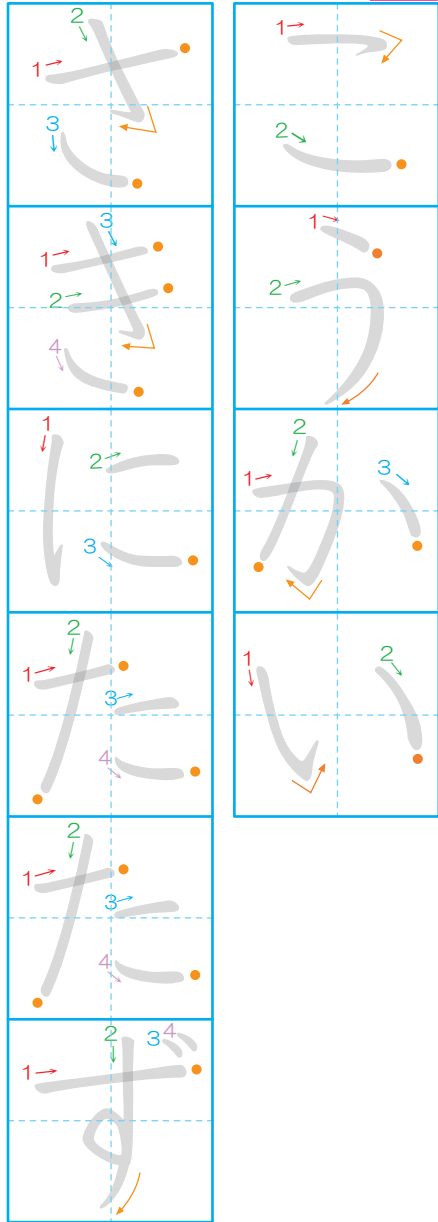


け



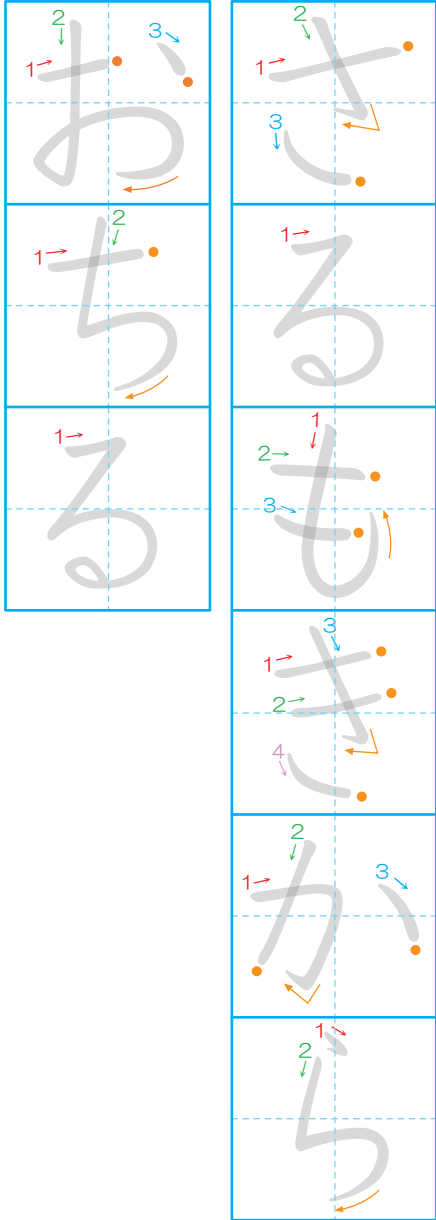
しっぱいだとおもったことが、おも  
いがけなくよいけっかになること。

こ

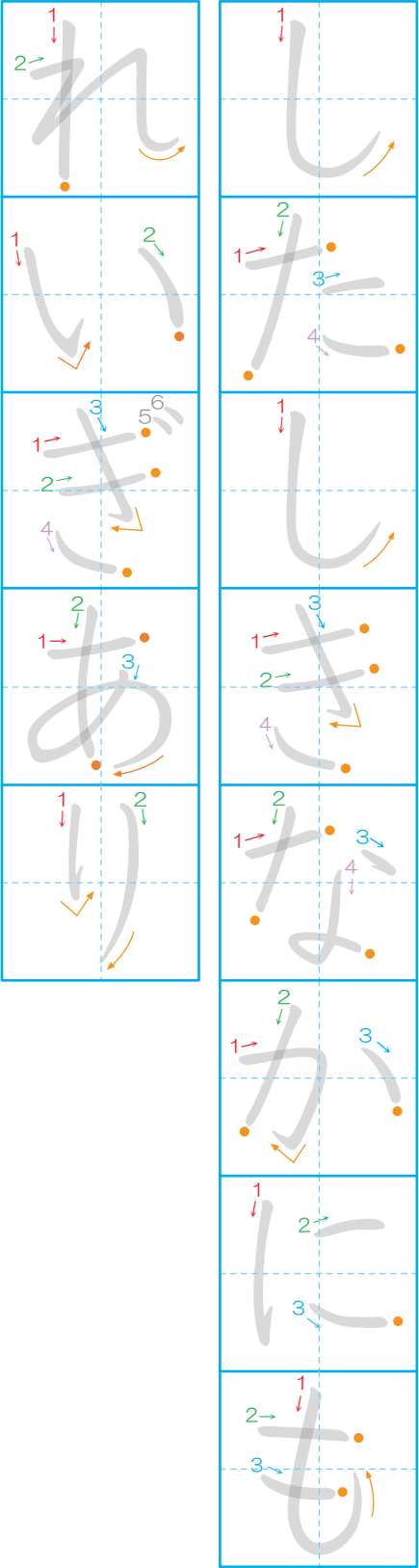


じぶんがしてしまったことをあとでし  
なければよかったとおもっても、とり  
かえしがつかないから、なにかをす  
るまえはよくかんがえたほうがよい。





どんなにめいじんでも、ときには  
しっばいすることがある。



どんなにしたいあいだがらでも、  
あいてにたいするれいぎをわすれてはいけない。



す

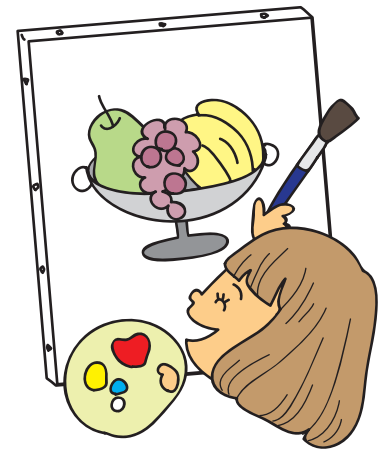
じ	す
よ	ま
う	こ
ず	そ
な	も
れ	の
	の

すきなことはしぜんといっしょうけ  
 んめいやるので、いつのまにかうまく  
 なるものだ。

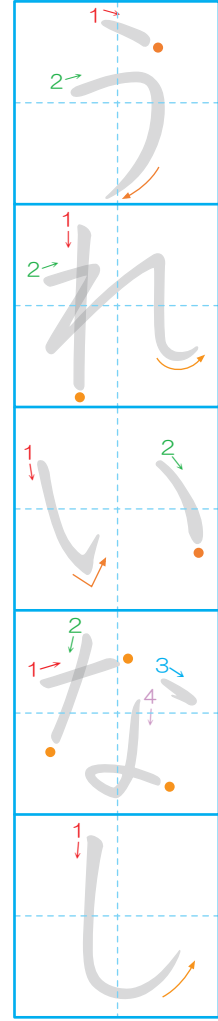
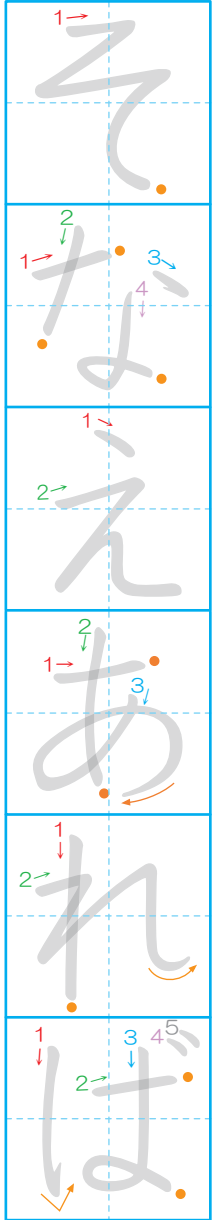
せ

い	せ
っ	ん
ほ	り
か	の
ら	み
	ち
	も

どんなにおおきなしごととも、ちいさな  
 いっぱからはじめて、ちいさいことの  
 つみかさねによってなすとげられる。

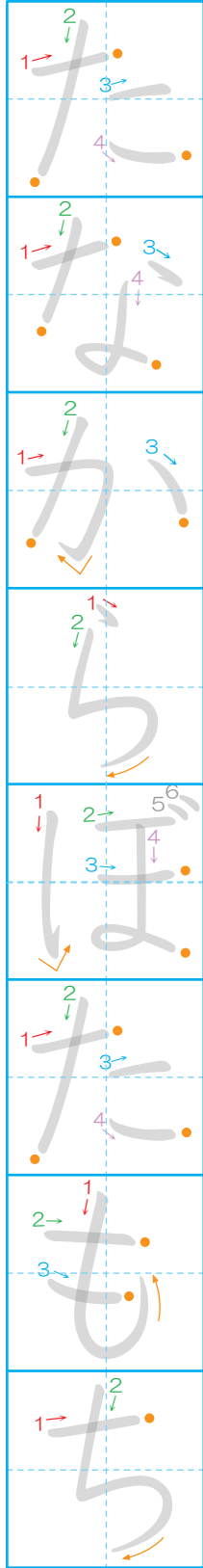


そ



いざというときのために、ふだん  
 からじゅんびしておけば、なにか  
 あってもしんぱいがない。

た

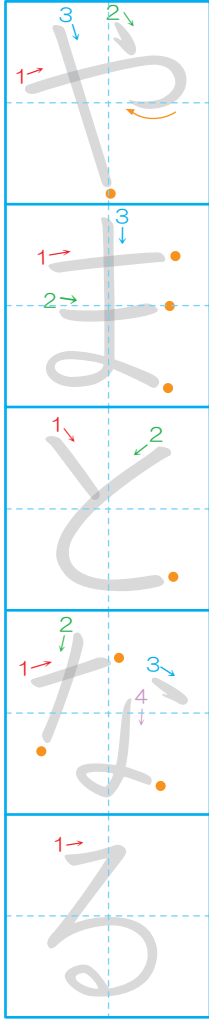
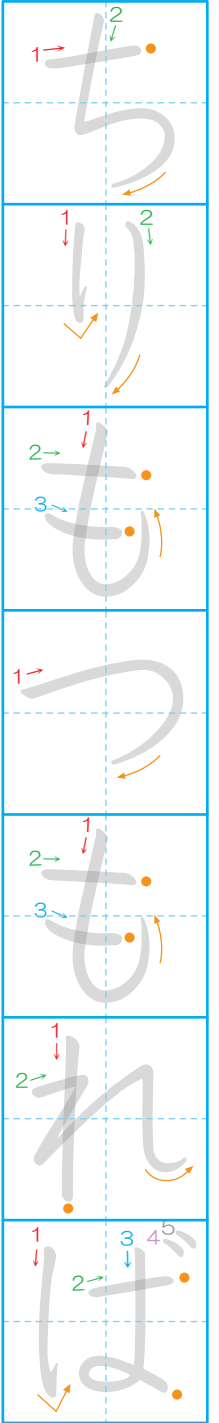


おもいがけないこううんが  
 まいこんでくること。



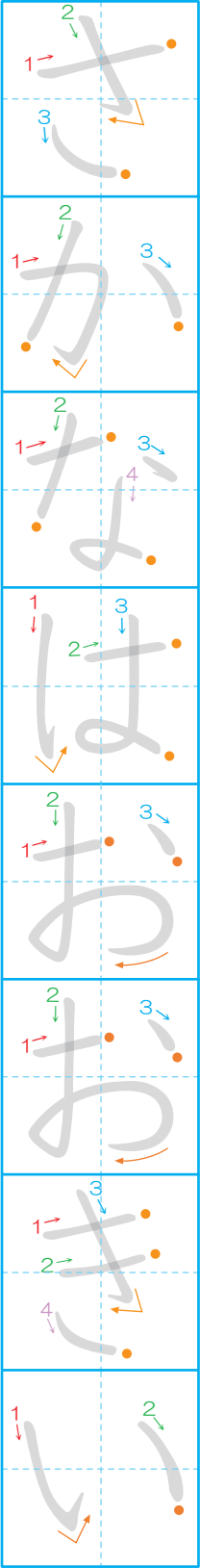
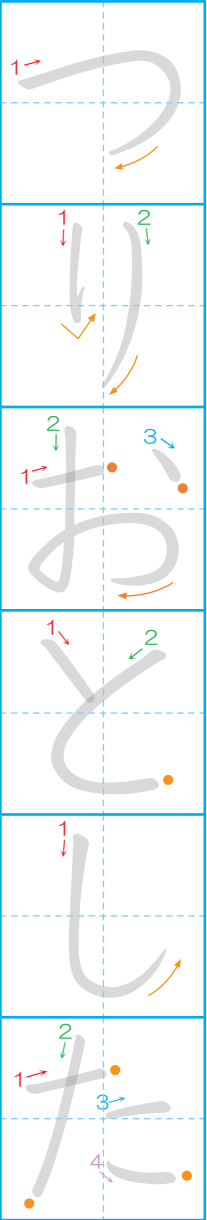


ち

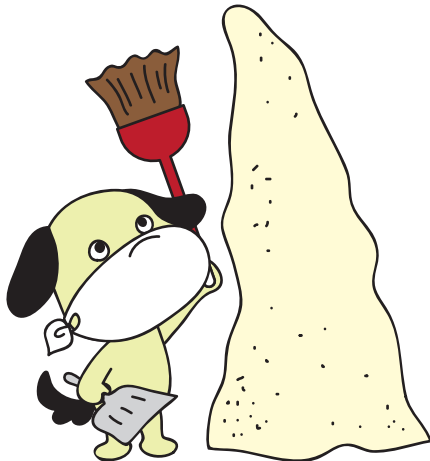
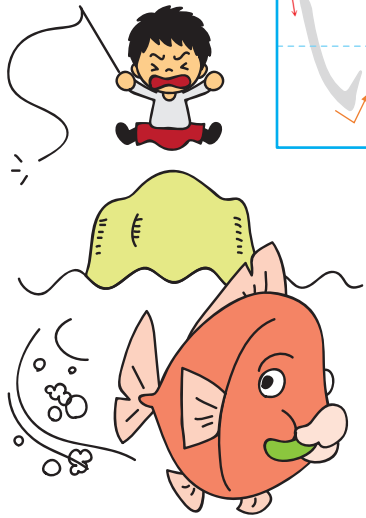


どんなにちいさなことでも つみかさねていけば おおきなことをなしとげることができる。

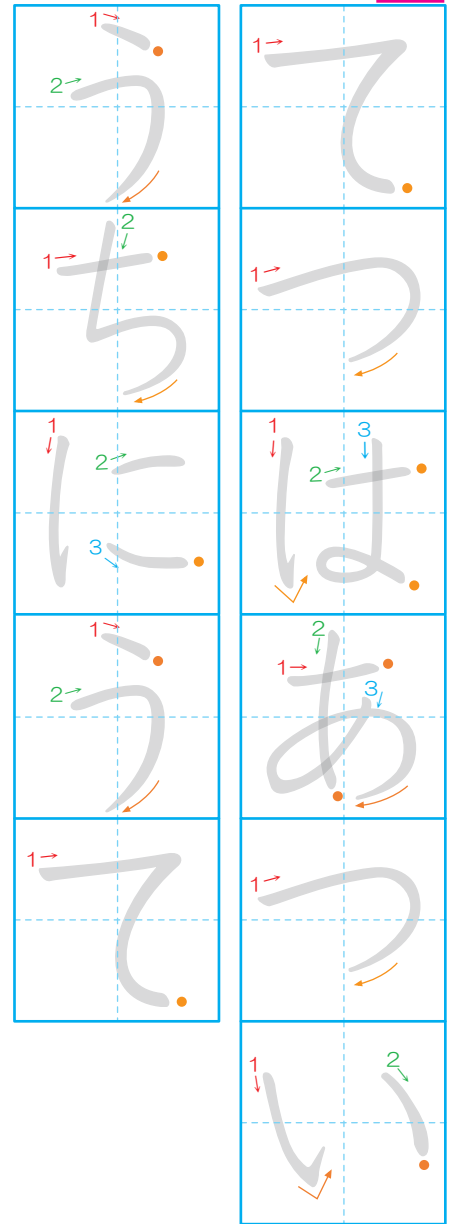
つ



もうすこしというところで、にがしてしまったものは、すばらしいものだったように感じるものだ。

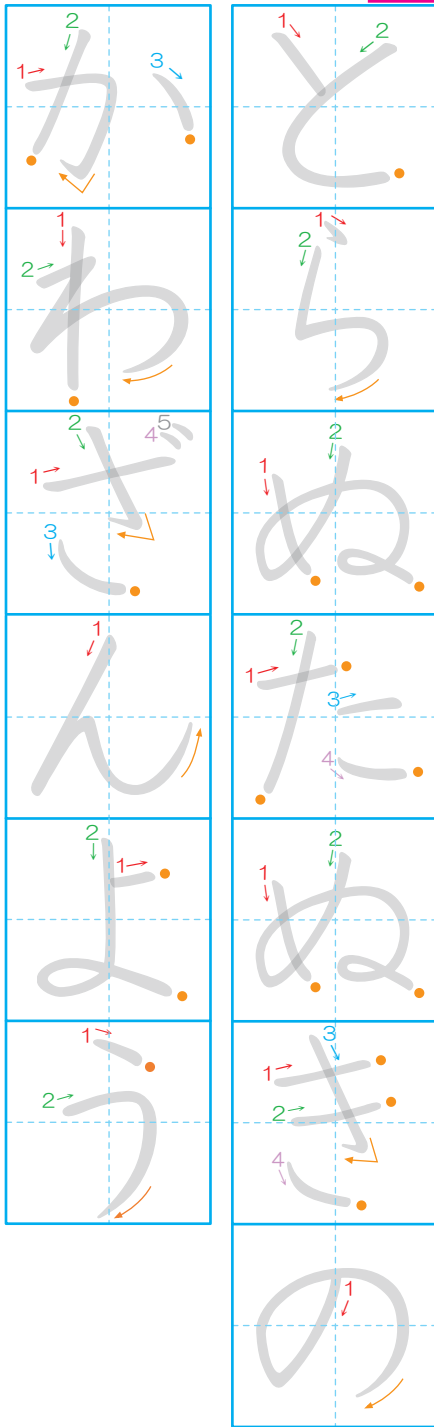


て

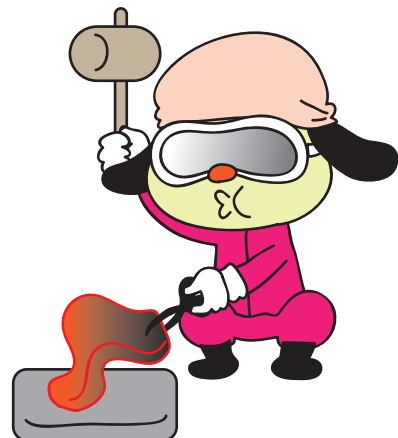


ちようどよいじきやチャンスを  
のがしてはいけない。

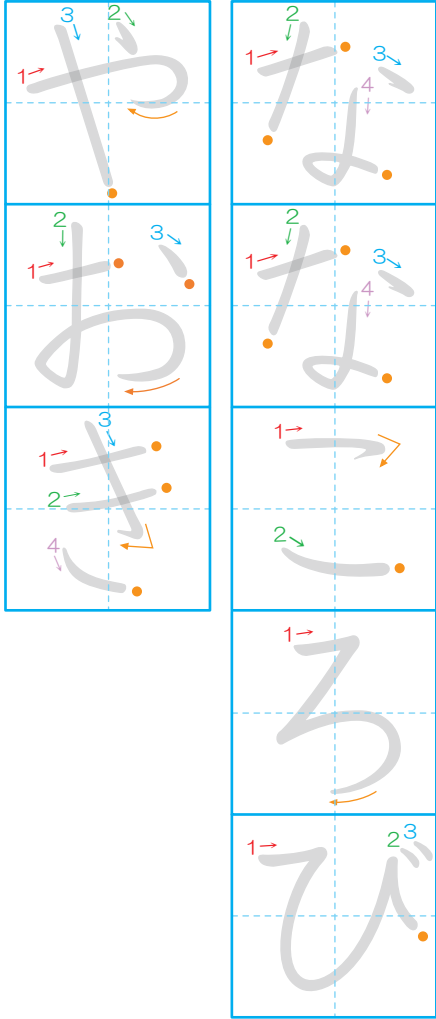
と



まだてにはいってもしないのに、  
それをあてにしてあれこれけい  
かくをたてること。

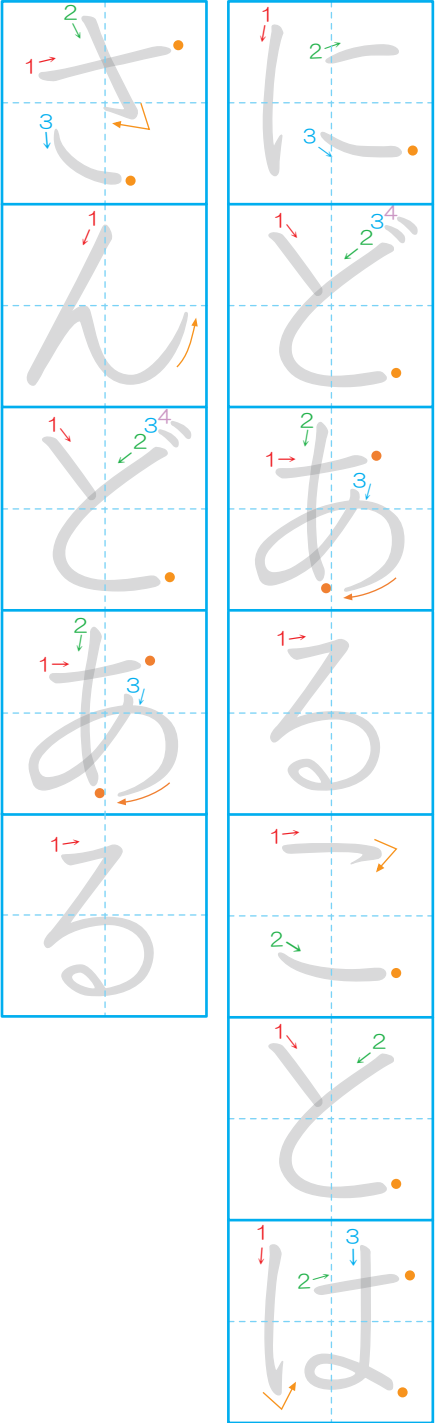


な

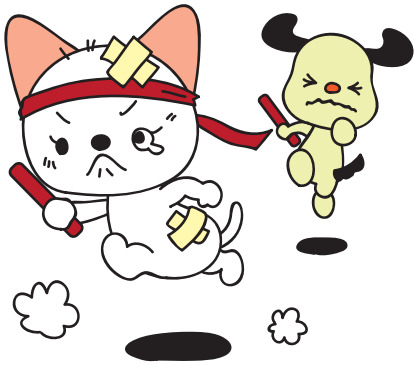


なんかいっぱいしても、くじけないで  
 たちがあってがんばること。

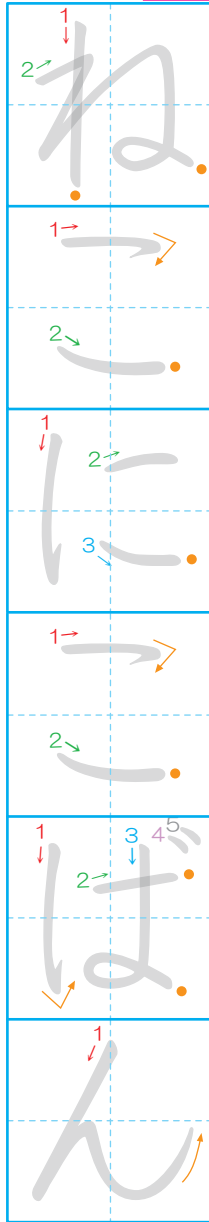
に



にどおこったことはつづけてもう  
 いちどおこる。ものごとはくりかえ  
 される。

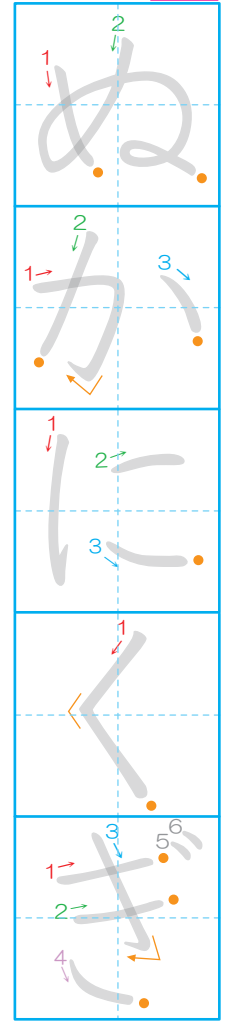


# ね

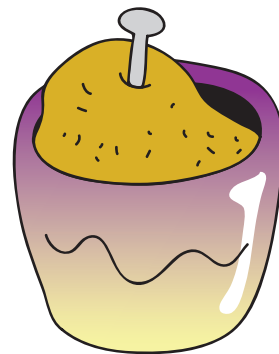


どんなにねうちの あるものでも、  
 そのかちがわからないひとには  
 なんのやくにも たたない。

# ぬ

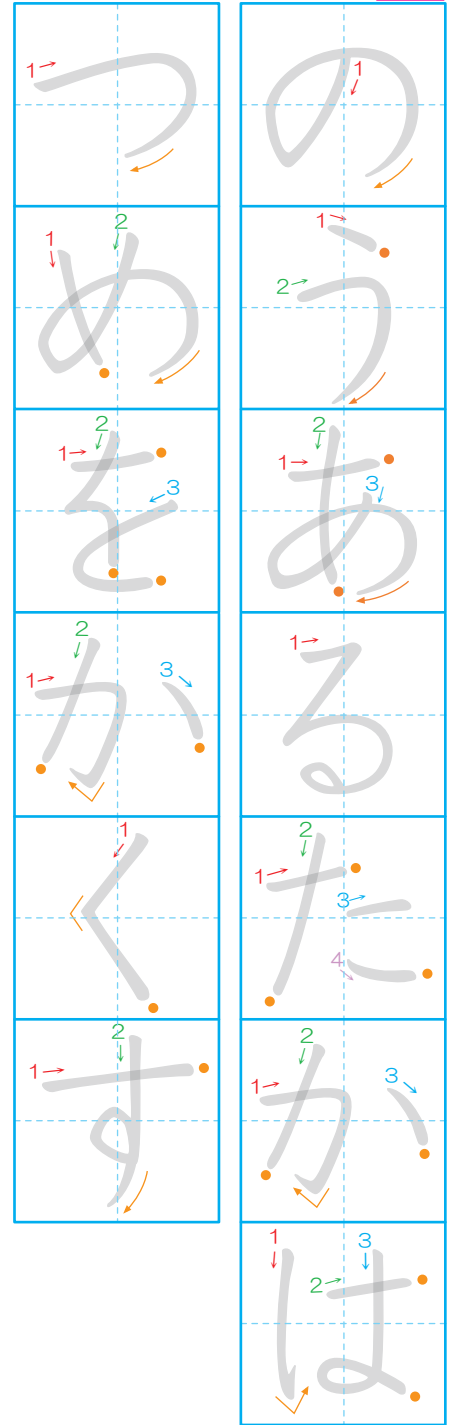
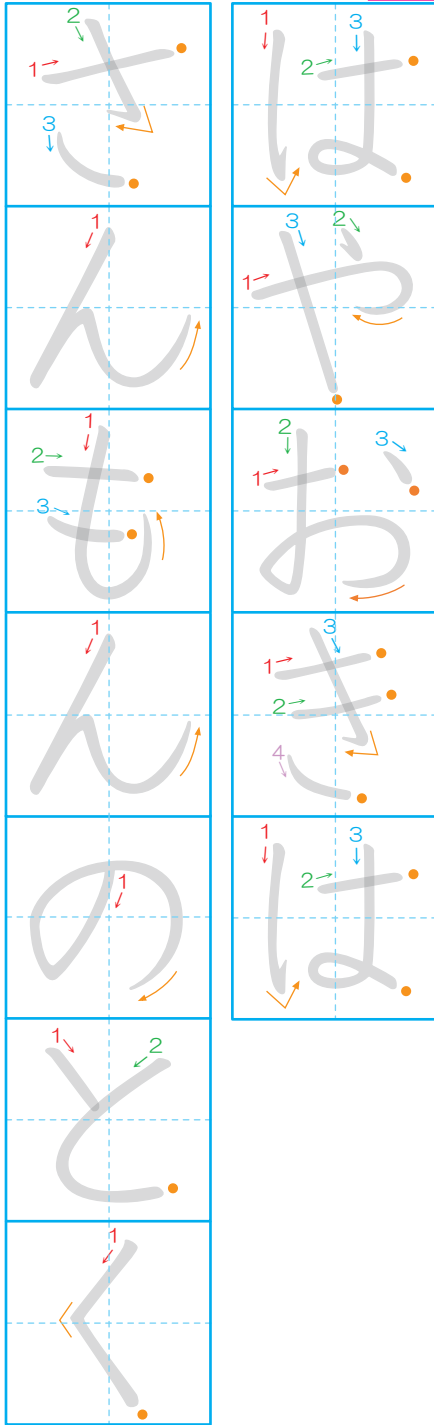


ききめやてごたえが ぜんぜん  
 ないこと。



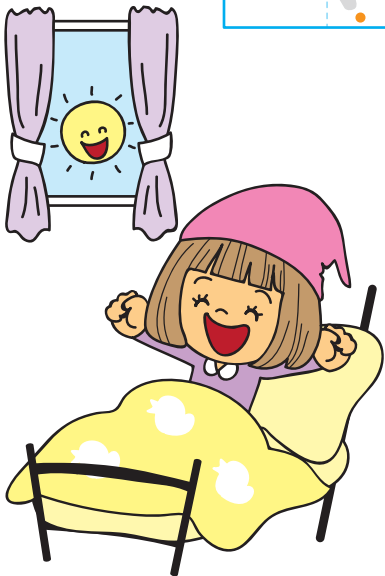
は

の

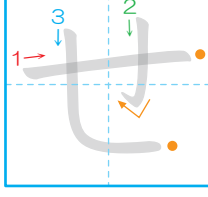
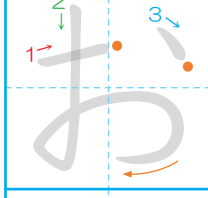
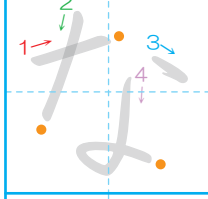
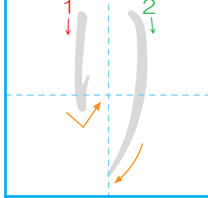
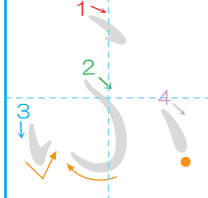
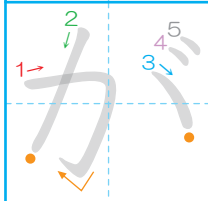
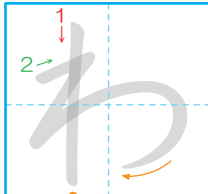
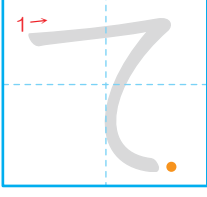
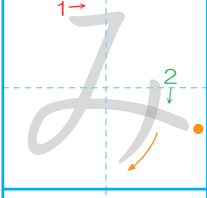
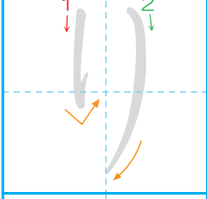
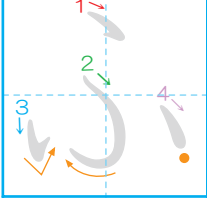
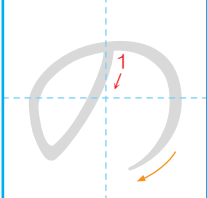
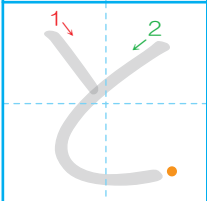
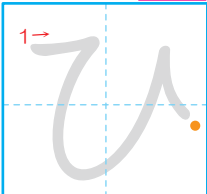


あさはやくおきると、なにかと  
とくになることがあるものだ。

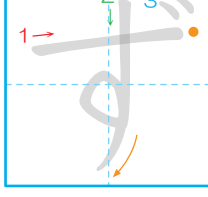
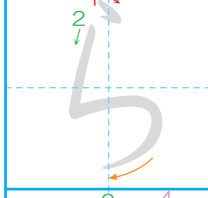
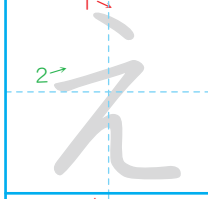
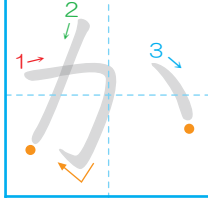
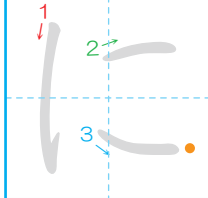
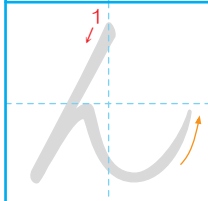
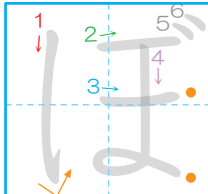
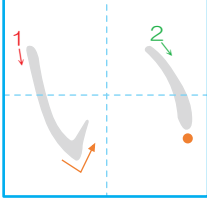
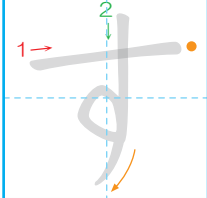
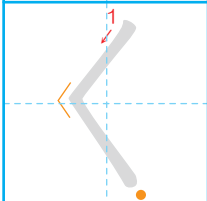
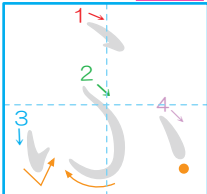
じつりよくのあるひとは、むやみに  
それをおもてにださない。



ひ



ふ



ひとつのおこないがよくないとおも  
うときは、じぶんのおこないのこと  
もふりかえて、はんせいしなさい。

いちどしてしまったことはもう  
とりかえしがつかない。



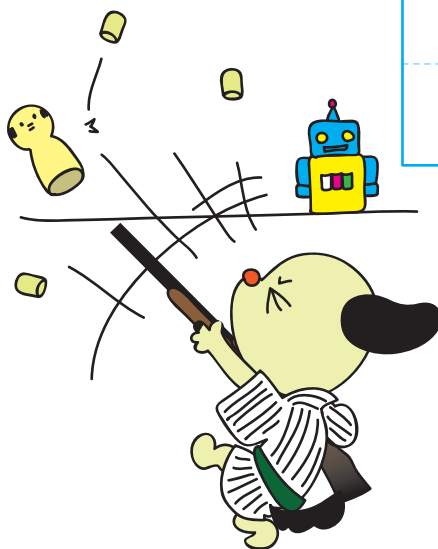
ほ

へ

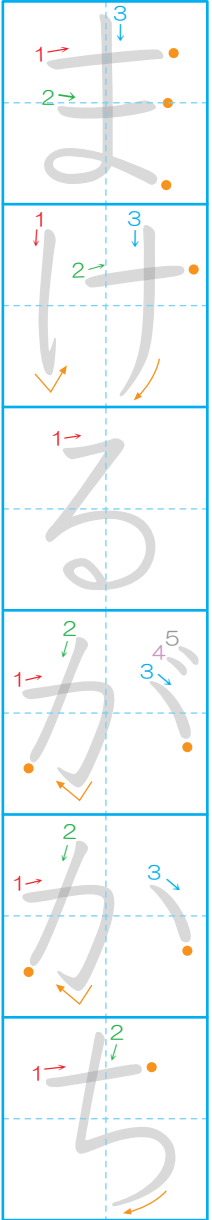


どんなにこころのひろいやさしい  
 ひどでも、なんどもひどいことを  
 されれば、おこりだす。

へたな ことでもなんかいもやれば  
 うまくいくことがある。

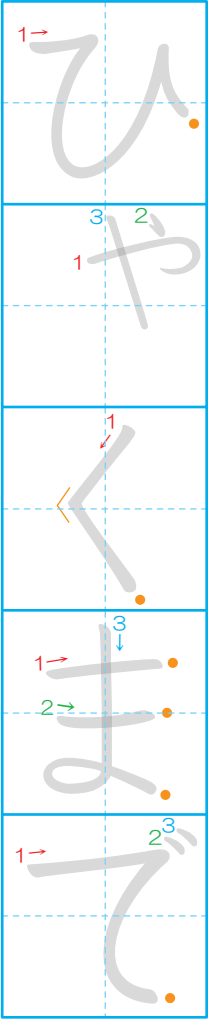
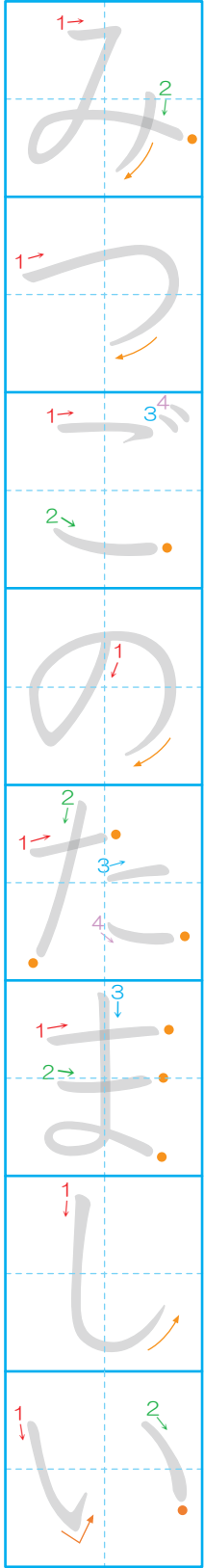


ま



むりをしてあいてにかとうとするよりも、そのばではまけておくほうがあとでとくになる。

み

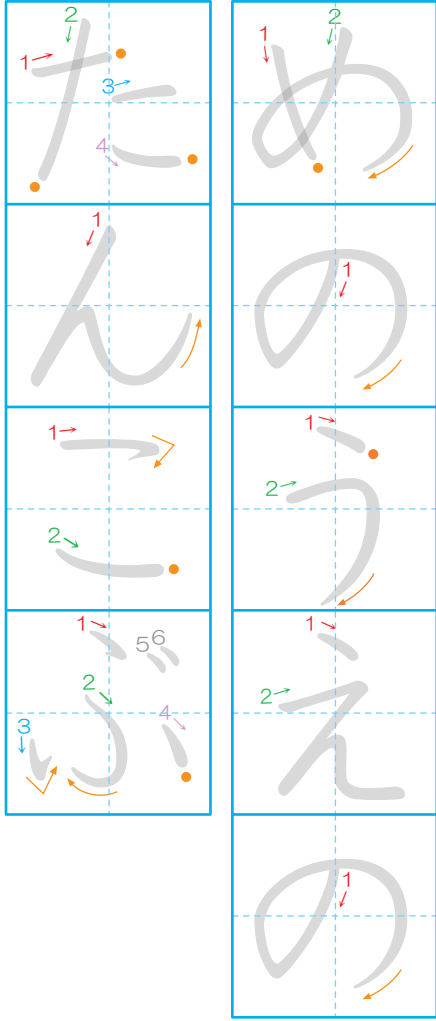


おさないときのせいかくは、としをとっててもかわらない。



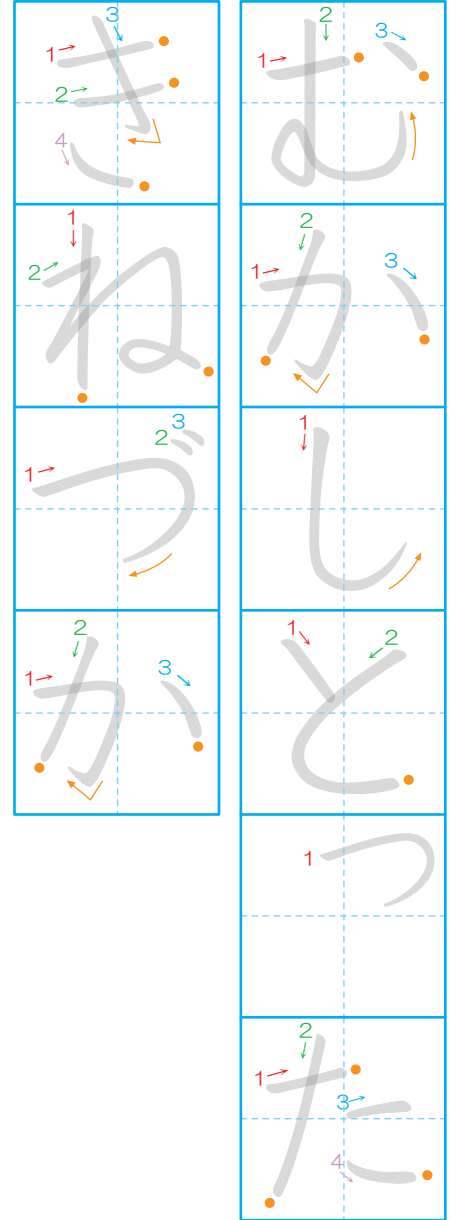


め



なにかとめざわりでじやまなひと。

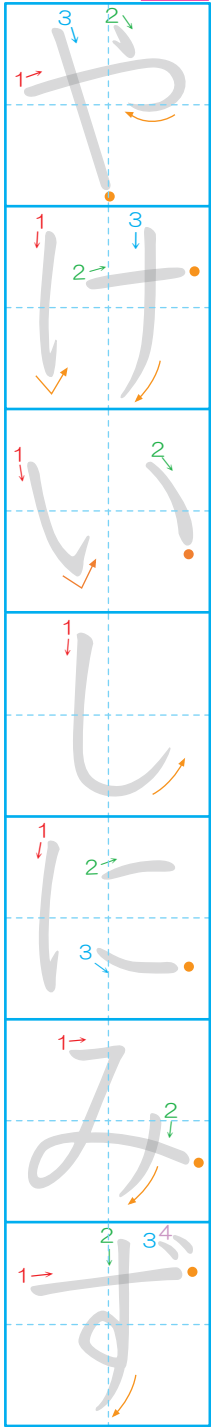
む



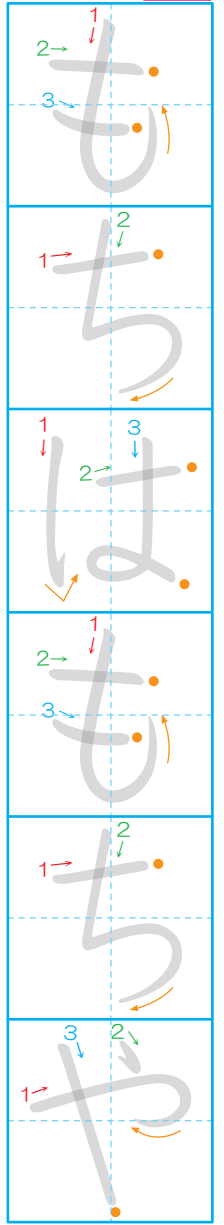
わかいつきにみにつけたうでまえは、としをとったいまでもおとろえずじしんがある。



や



も



どりよくやたすけがすくなくて、  
 なんのやくにもたたない。

なにごともしんもんかにまかせる  
 のがいちばんよい。

